

大學
 算術教授書
 於本
 三

大日本教育會
 第一
 三
 一八號
 六冊
 一〇架
 五國

K110.44
 97
 3

鈴木知幾編輯

尋常
小學

珠算教授書

版權免許

永和堂
穂山堂
藏版

尋常珠算教授書卷之三

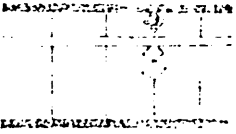
減法第一教

鈴木知幾 編輯

例 七個より二個を減すれば残り幾個ありや

答 五個

算 運



先つ一位の桁を定まる数の七個を布置、次に其位より算珠の二個即ち二顆を減り去れば残り五個と示す是を教むる処の姿とす

二個より一個を減すれば残り幾個とあるや
三個より二個を去れば残り何程ありや

尋常珠算教授書 卷之三

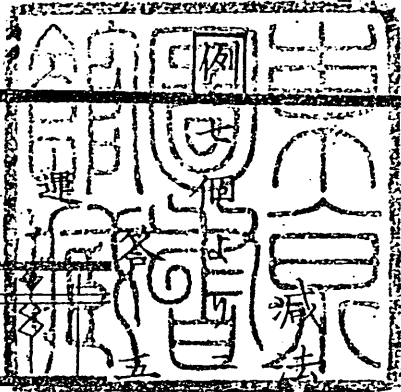
昭和十一年一月十一日内務省交附 5307

珠算教授書

新編 珠算教授書

尋常 小學 珠算 教授書 卷之三

鈴木知幾 編輯



の二個即ち二顆を減去れば残り幾個とある是を求むる處の答とん

二個より一個を減去れば残り幾個とあるや
 三個より二個を去れば残り何程ありや

尋常 珠算 教授書 卷之三

三

四個より三個を引けば餘り幾個ありや

四

六個より一個を取れば残り如何

五

七個より五個を減ずれば残り何程ありや

六

八個より三個を去るときは残り何程

七

九個より六個を引けば餘り幾許ありや

八

四個と二個の差を問ふ

九

八個の中より七個を減ずれば残り如何

十

九個より四個を去れば幾個残るや

十一

三冊の書物あり内一冊を去れば餘り何冊あり

十二

金七圓の内六圓を費したるは残り金何程ありや

十三

九つの林檎あり其内母が三つを持ち去らば残り

十四

幾つある林檎は幾個ありや

十五

爰に八人の小児あり内五人は男子なれば女子

十六

幾人ありや

十七

大筆六本と小筆五本あり小筆より大筆は何本

十八

多きや

十九

松の枝より七羽の鳩あり内二羽飛び去りたらば

二十

残り幾羽とあるや

二十一

鶏卵九つの中七つ抱孵せしめたらば残數幾個

二十二

ありや

二十三

鯉四足の中一足死したれば残り何匹ありや

九

米八石あり其中五石を賣りたれハ残り何石と

三

長さ九尺の柱あり内五尺を切り取らハ幾尺餘
るや

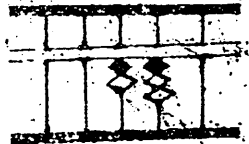
減法第二教

例

二十三個より十二個を引けバ残数如何

答 十一個

算 運



先一位置より取り去る数の二十三個を希き次に其中より減数の十二個を引くこと十位に於て十の一顆を去り一位に於て二個の二顆を去る即ち上圖黒線の如し十一個を餘る事を求むる處も教を求む

一 二 三 四

十二個より二個を減すれは何程あるや
二十八個より六個を引けハ残り幾個あるや
三十一個より二十個を去れハ剩り何程と問
二十九個より十五個を減せれハ残数何程とあ
るや

五 六 七 八 九 十

四十三個より二十一個を引けば残り如何
五十七個の中六個を去らハ残り幾個ありや
六十六個より五十一個を減して残り何程
七十四個と五十三個の差は何程ありや
八十七個の中六十五個を取れば餘り幾許ぞ
九十八個の中八十七個を減せれば残り幾何と

ふるや

十

金二十七円と銭十二円あり其差何程ありや

十一

算盤の價は五十三銭よして石盤の價は二十二

十二

銭あり何程の差ありや

十三

和洋書物合して三十九冊あり内十八冊は洋書

十四

ありといふ和書の数如何

十五

四十六葉の書物あり中午前よ三十一葉を讀み

十六

たれは午後よ残りよ幾許ありや

十七

米七十三石あり其内五十石を賣り拂ふときは

十八

残り石数何程とあるや

十九

或人四十八方かして十二方の子あり此子は其

二十

人何才の時よ生れ一や

廿一

名古屋より西京までの路程三十六里あり今此

廿二

路を行くよ二十一里車よ乘るときよ歩行の里

廿三

数何程ありや

廿四

二人の童子あり甲は二十八個の柿を持ちては

廿五

十二個の梨子を持ちり然るときは乙の梨子よ

廿六

り甲の柿も何個多きや

廿七

庭よ桜梅合して九十七本あり内三十五本は桜

廿八

ありといふ梅の数何程ありや

廿九

或人八十九円かて馬を買ひ後之を七十六円よ

三十

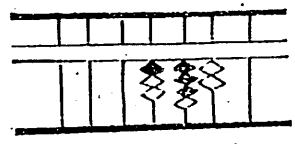
賣拂へりといふ幾許の損耗ありや

減法第三教

例 三百四十二個より二百十二個を減らさむ残り
如何

答 百三十個

算運



先つ前例小帳より多数の三百四十二個を布き其中より少数の二百
即ち二顆を百位に於て減し又十の一顆を十位に於て減し二個
の二顆を一位に於て減き水ハ上図黒顆の如く百三十個を劃去
即ち求むるところの答數と也

一 二百八十四個と百六十一個の差は如何
二 三百二十九個より三百〇五個を引けば残り幾
個とあるや

三 四百六十八個の内三百五十五個を減き幾を残り
幾個とあるや
四 五百二十七個より五百十二個を取らば残り何
程ありや
五 六百九十二個と五百三十一個の差を問ふ
六 七百七十七個より二百七十二個を引けば餘り
幾許あるや
七 八百四十六個より七百三十五個を減しなば残
數幾何ありや
八 九百三十八個と八百二十七個の差は如何
九 八百九十七個より八百個を引くときは何程の

尋常珠算新法

残数ありや

百七十六個の中百七十五個を減り此は幾個と
あるや

挑三百六十七個の中百五十二個を親戚に贈り

たれは自家に残る所は幾何なりや

尚船あり甲は四百六十八石乙は四百五十三石

の米を積たりといふ甲船より乙船の積石は何

程少きや

或人金七百五十三円を借り数年の後元利金合

して八百五十四円を返却せしといふ此利金何

程を問ふ

十四

或農家の収獲米を聞ふ昨年は二百九十六石
より本年は昨年より二十五石の減獲あり

といふ本年の収獲米は幾何なりや

十五

醸酒家あり清酒八百七十八石と味醂二百〇三

石を醸造せしといふ清酒より味醂は何程の少

十六

或村に四百九十七戸の人家あり内三百八十六

戸は草菅より餘は瓦菅なりといふ瓦菅の戸

十七

六百七十四間の糸を以て紙鳶を揚げし偶糸

切れて手に残りし糸五百二十三間ありと去失

大

ひたつる者幾許ありや

二千五百八十六人を以て出軍せし者若干の死傷あり凱戦の際之を改むる者一千五百三十五

人ありしと云ふ問ふ死傷の兵負幾人ありや

九

旅人あり二百八十六里の道を行かんとし船にて百二十一里を進めり然るときは尚幾里あり

て先方へ達するや

十

或人金一千八百六十九円を持ち地所と家屋を求めし地所は一千。五円にして其餘を家屋代金ありといふ問ふ其代金何程ありや

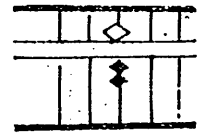
減法第四教

例

六個より四個を減き水ハ残り幾個ありや

答 二個

算 運



先づ前例は做ひ多数の六個を布き次が其中より四個の四顆を減きべきあり然る小四顆は引けがきき減算九よりも六より四と二ふるを按じ地五顆を添へ天の一顆を拂ひ三顆を剩し即ち求むる所の答数なり

一 五個より四個を去水ハ残り何程ありや

二 六個より三個を減き水ハ餘り幾個ありや

三 七個より四個を取水ハ何程ありや

四 八個より四個を引けば幾個残りや

五

五個より三個を減つれば何程剩るや

六

六個と二個の差を問ふ

七

十五個より十二個を去り何程残るや

八

廿六個と十四個の差は幾個ありや

九

蜜柑十七個のうち四個を食へば残る幾個

あるや

十

花園の二十六株の芍薬あり内三株枯れたるは

残り幾株ありや

十一

茶碗四十八個あり内四個は損壞ありと去ふ

完全の分幾個なりや

十二

父は五十七才より母は三十四才より然るに

十三

幾才の差ありや

牧場は二十六疋の牛あり内十二疋卧しと水

立ちたる牛何疋ありや

十四

二丈八尺の織物あり其内一丈四尺を以て半纏

小裁ちとれば餘り何程ありや

十五

米三十七俵と麦二十四俵あり麦より米は何俵

多きや

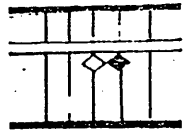
例

減法第五教

十個より九個を去れば残り幾許ありや

答 壹個

運算



先づ例小位の十個を置き次一位置に於て九個の九顆を減じへき
あり然る小一位は空敷より減がらる依て減算九を接し十
より九引一残ると上位の一顆を借り二位の一顆を残すより即ち求む
る所の答と成

- 一 十一個より二個を去れば残り如何
- 二 十二個より三個を取れば餘り何程あるや
- 三 十四個より五個を減じれば其答幾幾何
- 四 十個より三個を減じれば答幾何
- 五 十七個より八個を去れば残り如何
- 六 二十三個より六個を引けば其剩り何程ありや
- 七 十五個より九個を減じれば残り幾個あるや

- 八 三十一個より四個を引けば残り幾何
- 九 二十個と七個の差は何程ありや
- 十 雞卵十二個あり内五個を食べれば残り何程
ありや
- 十一 牛と馬と十八疋あり内九疋を牛ふりといふ
馬は何疋ありや
- 十二 金十四匁の墨と金八匁の墨あり其差何程ある
や
- 十三 鐘二十一個あり内二個を毀ちれば残り幾個
とあるや
- 十四 池の中ふ十二疋の端と七疋の龜あり池の中

尋常 未詳 文 三

の龜哉 尺寸きや
小児小其母の年を聞く小父は三十五也よりて
吾は八也あり然して母は父と吾が年の差も全
しといふ母の年幾也ふりや

五

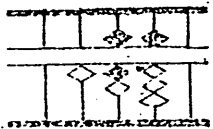
減法第六教

例

百二十三個より五十八個を去れば残り如何

答 六十五個

算 運



先づ例の如く多数の百二十三個を布置し其中より少数の五十八個を
減すべきあり然るに其十位より五顆は減りかこきを以て上位の
顆を借り減算九々し做ひ五引て五残ると十位は五顆を加へ次は

一位は於て八個を減すべきも尚被減数かすして減るを得ず
依て先例の做ひ上位の二顆を借入引て二残ると一位は二顆
を加ふ然して其残数六位を命ト求むる所の答なり

一 二 三 四 五 六 七 八

百十五個より二十七個を減り残り如何なりや
二百三十一個と百五十三個の差を問ふ
百四十五個より九十五個を引けば残り如何
百七十六個より百九個を減り水ば餘り如何
五百〇三個より八十九個を去れば残数幾許
二百二十二個と六十九個の差は幾個ふりや
百個の中五十五個を引けば残り何個ふりや
二百個の中百九十九個を減り水ば残数如何

九

三百四十八個の中より二百六十五個を減き水

十

ハ何程残るや
四百二十五個と三百七十九個の差を問ふ

十一

金八百二十三円の内七百五十六円を人より貸さ

十二

ハ残り幾許円ありや
或学校の生徒数は五百四十一人にして内男生

十三

三百八十人ありといふ女生何人ありや
菓物二百三十五筥あり内百四十六筥を他へ輸

十四

送せしといふ残り幾筥ありや
甲乙の私脚あり甲は二百三十五里の地より行き

十五

乙は百七十八里の地に至るといふより甲の
里數何程遠きや
一商人あり金三百四十五円を以て油を買ひ之

減法第七教

一

を他へ賣拂ひて金三百九十七円を得しといふ
何程の利益あるや

二

千二百五十四個より九百六十八個を減き水は
何程残るや
二千四百五十六個の中一千五百九十七個を減

三

き水は残り何程ありや
三千六百七十九個より二千九百八十五個を去

水バ残数裁許ふりや

一千三百八十二個より九百四十七個を引けば
餘り幾個とふるや

五千六百九十五個の中四千六百九十四個を裁

き水バ残数如何

千百五個の中より八百二十九個を引けば餘数

何程ふりや

甲乙の二数あり甲は三千四百二十八個にして

乙は甲より少きこと千九百五十三個ありとい

ふ問ふ乙数何程ふりや

一か當ふ歩騎兵八千六百五十五人あり此内五

八

千八百四十五人は歩兵ふりといふ騎兵八何人

ふりや

或氷店にて氷五千八百十六斤を買い置きし

漸次溶解して現量五千六百四十斤とありしと

ふ問ふ溶解せし斤数如何

或人一千二百五十六円の地價を有せり其内八

百四十九円は田の地價にして余ハ畑宅地の地

價ありといふ畑宅地の地價額如何

農人あり收穫米六十九石八斗五升の内二十八

石九斗六升を食料に充て其余を賣拂へりとい

ふ其額何程ふりや

十

十

九

尋常 朱子文受書 卷之三

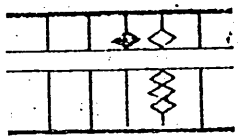
十一

例

減法第八教

五十八個の内より一個及び七個を減きれば残
数何程ありや 答五十個

算 運



先づ前例に倣ひて五十八個を布き次に一位より一個の二顆を
減し尚又次数の七個を一位に於て減す即ち五十個を残し求
むる處の答を得るより以下重減の法皆此例に倣ふべし

一 二 三

二十三個より八個と五個を引けば残数如何
五十六個より七個と三個を減きれば如何
七十八個より二十六個と九個を去れば何程あ
りや

四 五 六 七 八 九

十五個の中七個と八個を減きれば如何
三十三個の中より二十一個と五個とを減き
ば残数何程ありや
四十一個より六個五個二個の数を引けば残り
何個ありや
七十五個より二十八個と九個を減きれば残り
何程ありや
六十七個より五十一個と四個とを減きれば残
り何箇ありや
九十九個より一個二十八個七個五個の諸数を
減きれば其残数幾個とありや

尋常未だ受書

卷之三

十

七十個のうち三個四個八個九個の諸数を減き

十一

水バ残数何程ありや
李童ちり四十五錢を持ち書店に至り小孝讀本

を四錢又て買ひ又脩身書を二十七錢又て買ひ

十二

しといふ残金何程を有るや
桃四十九箇を小兒三人に分与る又甲兒又十

四箇乙兒又九個を与へ其剩を丙兒又興へいと

十三

口ふ問ふ丙兒の所得幾個ありや
米麦豆合して八十九石あり其内米は三十八石

十四

又して麦は十五石ありといふ豆は何石ありや
砂糖商あり砂糖九十六斤のうち初日五十七

斤を賣り又翌日二十八斤を賣りたりといふ尚

残りの砂糖は何斤ありや

十五

半紙四十八枚の中二十六枚を以て草紙を造り

十二枚を以て手帳を造りた水バ残り幾枚あり

減法第九教

一

百四十六個より二十七箇と五十四個を減き水

二

バ何個とあるや
二百九十一個の中百二十五個と六十八個を去

水バ残数何程ありや

三

四百。五個の中より二百。一個及び百四十六個を引けバ何程余るや

四

五百五十九個より百二十五個四百二十九個の兩數を減て水バ残り幾許ありや

五

七百九十四個の中五百六十九個と百二十個を去れば剩り何程とふるや

六

三百四十六個の中五十八個六十九個百五十六個の諸數を減て水バ殘數何程ありや

七

六百二十七個より百五十九個と三百個の兩數を減て水バ殘如何

八

金九百八十六円の内五百四十二円を以て田を

九

買ひ二百五十円を以て畑を買ひ其餘を以て宅地を買へりといふ問ふ其代金如何
米五百十六石の内四百石と九十五石を減て水

十

蜜柑八百六十四個を買ふに三百五十六個入と二百三十七個入各一箱を買へりといふ尚

十一

何個の不足ありや
或人七百九十五円を以て商業をふせしに初年
より百八十二円を損し次年より若干の損をふ
し今五百。六円を有るといふ次年の損高を問
ふ

十一

酒八百七十六駄を船積して東京へ輸るの際途中に於て難風を遭ひ八十七駄を海に沈め又着京の後百二十三駄を腐敗せしといふ問ふ悉ふく着京せし酒も幾駄なりや

十二

金四百二十八円拂ふべき處へ百六十三円の麦と二百三十円の米を渡したれバ尚幾円の金を渡すべきや

十三

烟草六百四十五斤の内国府三百四十一斤舞鶴百九十七斤にして余は地回りふりといふ問ふ地回り烟草も幾斤ありや

十四

一年も三百六十五日より内五十二日は日曜

三十二日は臨時休暇とす此バ勉むる日は幾日なりや

減法第十教

一

二千七百六十個の中千二百六個五百九十四個

二

三百四十二個の諸数を減せば幾許ありや

三

三千七百四個より七百三個と八百二個と一千

四

二百四十八個を減せば残り幾何ありや

五

二千七十五個より千八百九十六個及五十九個

六

を減たれば残り幾何ありや

七

七千個より五十一個を減せば幾箇とあるや

五 千五百八十四個より二百八十四個と六百九十

四個を減じれば残り幾個ありや

六 二万八千九百七十八個より一万九千九百六十

九個を減じれば残り何程ありや

七 四万四千個より三千八百九十二個を去れば残

り何程ありや

八 七万個と五万四千五個の差を如何

六万四千八百個と五万九千六十二個の差を求む

九 五万八千四百個の中三万六千五百七十七個と三

百廿九個を減じても残数何程ありや

十 或人所持金五千四百六十八円を三子に分つよ

十一

十二

十三

十四

十五

十六

十七

十八

十九

二十

二十一

二十二

二十三

二十四

二十五

二十六

二十七

長子は二千四百九十円次子は千八百三十三円
よつて其余は三子に與へよといふ三子の所得
を問ふ
或人金拾円の紙幣を出して金六円八十五錢五
厘の毛布と二円七十六錢八厘の華籠を求めた
れば釣銭何程を受取るべきや
金三十五円を懐中して東京に至り所々巡覽し
て飯郷の際之を改むるに僅三十七錢二厘の残
金ありよといふ消費金高何程ありや
某官吏二千四百円の年俸を受け八百円を交際
費として一千二百円を家費に充つといふ一年の

残金幾何

愛知縣の明治十九年度歳計豫算額は十一万七千四百五十六円ホーて岐阜縣は九万二千四百八十円ホリといふ兩縣の間何程の差ありや

減法應用問題

- 一 金五十二円を以て百二十五円の馬を買ひたりといふ不足金如何
- 二 父を四十三歳より母を三十七歳ホリ母より父ハ幾才長せしや
- 三 半紙九十五折あり之を四十八名の生徒に各一

折宛寺ふれば幾折剩りや

四 唐墨と和墨と合して百挺あり内唐墨は五十三挺ホリハ和墨も幾挺ホリや

五 玄米八斗五升を白米よホせしホ六斗八升とホ老りと其耗米幾許ホリや

六 周囲七百四十五間の地面あり令其周囲よ板塀を築かんとホるよ表口四十六間を省くとせむ残り何間ホリや

七 或村の孝齡児童を調ふるよ九百四十六人あり内六百二十八人は就孝生ホリといふ不就孝生ハ幾人ホリや

八

二人の姉妹あり姉は紀元二千五百廿一年に産
れ妹は全二千五百三十六年産れといふ姉
の長トとること幾年あり也

九

四日市港より香港迄の航路六百七十里ありて
一航船あり既に三百七十八里を歩きといふ
前路猶幾里ある也

十

米一石を金四円八十四匁にて買ひ之を金五円
三十五匁に賣れり利益如何

十一

紙敷三十六葉の一書あり之を讀む小午前二十
一葉午後十八葉讀たれば尚幾葉残る也

十二

松竹梅合して百五十本あり内招は五十四本竹

十三

は五十九本ありといふ梅の數如何

或人二百九十本の桑を植む小十九本は枯れ

十四

五十本は人よ賣りといふ残り幾本あり也

旅人あり百二十五里を距る地に至らんといふ車

又乗りて四十九里を歩き歩いて若干里を歩き
船又乗りて五十二里を歩き又先方へ達せり
と云歩行の里數如何

十五

或人金二百四十六円を所持して牧場に至り百
三十八円の牛と百五十二円の羊を買たりと云
何程の不足ある也

十六

某縣の巡查五百八十五人の内一等巡查四十九

十七

人二等巡查八十七人三等巡查百六十五人
下其余は四等巡查ふりと六其人負如何
葡萄酒二百六十罎の内五十七罎は他人に
賣却し其餘を飲用し充てりといふ其数幾何

十六

汽車の乗客を算するに上中下の三等合して九
百六十八名あり内上等三十六名中等二百三十
八名ふりと下等幾名ありや

十九

或学校の生徒惣計四百七十三人あり内四十七
人は高等科生にして三百五十一人は尋常科生
其他は女子裁縫生徒と云問ふ其人負如何

二十

八百九十五樽の醤油を運送するに初めは五百
樽次は二百九十八樽を送りしに云尚幾樽残る
や

廿一

庫中は米麦豆の三穀を容るゝ小米六十五石麦
百四十九石豆若干石にして惣計五百八十二石
ありといふ豆の石数幾許ありや

廿二

玄米四石五斗を舂きて其減量を見るに六斗四
升ふり而して既し白米の内二石三斗六升を賣
却せりと其現米の高を問ふ

廿三

甲乙丙三人あり資本を合し商業を営み金六百
九十七円の利益を得たり此内甲は三百四十円

廿四

乙は百七十三円を取れり而の所得如何
酒造家あり二千五百四十七石の酒を醸造せり
内焼酎も八百七十六石味淋酒も七百九十八石
ふいと餘も悉く清酒ふりと云ふ清酒の石数を
問ふ

廿五

或人三千四百九十六円まで一の工場を求め
最初又一千二百円を拂ひ次ふ九百八十二円を
拂へりと云ふ尚幾円拂ふべきや

廿六

其人家屋を買んとて其價を問ひしは五百廿六
円ふりと然るは此人已が所有金を以て支弁を
為し難きを以て他より百二十三円と二百。五

廿七

円とを借入北漸く調金せしといふ問ふ何程の
原有金ありや
半紙一ノ即ち二千枚を買ひ其内習字用は八
百二十五枚を賣し帳簿を製するは四百五十枚
を用ゐる寫本用は五百二十一枚を用ゐたり残
紙何程ありや

廿八

某学校教頭の月俸は金五十円又ふ幹事は教
頭より八円少く書記は幹事より十九円五十錢
少くと云ふ書記の月俸如何

廿九

或人金八百六十二円を以て年内家費の支拂を
為すは尤の通りふりと云ふ何程の過不足あり

ヤ

記

一金二百六十七円五十銭

飯料

一金三百二十五円三銭

被服費

一金百二十九円六十銭

僱入費

一金百二十五円六十八銭

雇人給

ノ金

貪慾爺歎いて曰く吾若く九百九十九円二十三
銭五厘を拾ひおぼ持は一十円の有金とあるべ
くと問ふ此爺今裁許金と有るや

左の賣買に於て損益如何

三十

三十一

金六円九十五銭にて買ひ之を七円五十八銭に
賣り又金十二円六十銭にて買ひ之を十一円九
十五銭にて賣りと

三十二

買金八円三十手銭 賣金十円二十銭
買金七円五十四銭 賣金八円十二銭

三十三

買金九円四十六銭 賣金七円六十銭あり
買金百七十二円 賣金百六十四円

三十四

買金二百。五円 賣金二百二十円あり
仕入金十八銭五厘 賣金十九銭八厘

仕入金五銭三厘五毛 賣金四銭五厘

仕入金廿九銭三厘 賣金三十銭

仕入金八匁

賣金十一匁あり

虎の各項の差を速算せよ

世

金二千五百六十八圓の内左の金額を減せよ

金百八十五圓 金九百六十五圓

金三百四十一圓 金五百三十六圓

金百〇一圓

世

金十五圓八十九匁六厘の内左の金額を減せよ

金一圓六十九匁 金七十八匁六厘

金四圓四十匁 金二圓七十二匁

金二十五匁八厘 金六十四匁

世

米七百八十六石の内左の数を減せよ

米二百三十五石 米五十四石

米七十八石 米四百〇二石

天

麦九石七斗五升の内左の数を減せよ

麦一石二斗三升 麦二石四斗二升

麦五斗四升 麦三石

麦三斗五升 麦一石五升

三

木綿五百五十六丈二尺の内左の数を減せよ

百二十六丈三尺 二百三十六丈四尺

五十二丈八尺 二十九丈三尺

四十二丈八尺五寸

罕

糸六百四十八斤あり内左の加減を施せよ

加三百二十五斤

減五百二十六斤

加七百九斤

加七十三斤

減六百四十二斤

減五十七斤

減四十四斤

加二百四十斤

尋常小學珠算教授書卷之三終

尋常小學珠算教授書卷之三終

減法第一教

(一) 一個
(五) 二個
(九) 一個
(七) 六つ
(七) 二つ

(二) 一個
(六) 五個
(十) 五個
(六) 三人
(大) 三足

(三) 一個
(七) 三個
(七) 二冊
(七) 一本
(九) 三石

(四) 五個
(八) 二個
(七) 一個
(六) 五羽
(辛) 四尺

減法第二教

(一) 十個
(五) 廿二個
(九) 廿二個

(二) 廿二個
(六) 五十一個
(十) 十一個

(三) 十一個
(七) 十五個
(七) 十五口

(四) 十四個
(八) 廿一個
(七) 三十一

(廿) 廿一册
(廿) 十五里
(廿) 十六個
(廿) 廿三石
(廿) 六十二本
共三十六戈

減法第三教

(一) 百廿三個	(二) 一十四個	(三) 百十三個
(四) 十五個	(五) 百六十一個	(六) 五百〇五個
(七) 百一十個	(八) 百一十個	(九) 九十七個
(十) 一個	(十一) 二百十五個	(十二) 十五石
(十三) 一百一十	(十四) 二百七十二石	(十五) 六百七十五石
(十六) 百一十戶	(十七) 百五十一間	(十八) 千五十一人
(十九) 百六十五里	(二十) 八百六十四	

減法第四教

(一) 一個	(二) 三個	(三) 三個	(四) 四個
(五) 二個	(六) 四個	(七) 三個	(八) 十二個
(九) 十三個	(十) 廿三株	(十一) 四十四個	(十二) 廿三戈
(十三) 十四足	(十四) 一丈四尺	(十五) 十三俵	

減法第五教

(一) 九個	(二) 九個	(三) 九個	(四) 七個
(五) 九個	(六) 十七個	(七) 六個	(八) 廿七個
(九) 十三個	(十) 七個	(十一) 九足	(十二) 六戈
(十三) 十九個	(十四) 五足	(十五) 廿七戈	

減法第六教

(一) 八十八個	(二) 七十八個	(三) 五十個
----------	----------	---------

(四) 六十七個	(五) 四百十四個	(六) 百五十三個
(七) 四十五個	(八) 一個	(九) 八十三個
(十) 四十六個	(十一) 六十七個	(十二) 百六十一人
(十三) 八十九箇	(十四) 五十七里	(十五) 五十二口

減法第七教

(一) 二百八十六個	(二) 八百五十九個
(三) 六百九十四個	(四) 四百三十五個
(五) 千。一。一個	(六) 二百七十六個
(七) 千四百七十五個	(八) 二千八百十人
(九) 百七十六斤	(十) 四百〇七口
(十一) 四十七石八斗九升	

減法第八教

(一) 十個	(二) 四十六個	(三) 四十三個	(四) 〇
(五) 七個	(六) 廿八個	(七) 五十八個	(八) 十二個
(九) 五十八個	(十) 四十六個	(十一) 十四莖	(十二) 廿六個
(十三) 三十六石	(十四) 十一斤	(十五) 十枚	

減法第九教

(一) 六十五個	(二) 九十八個	(三) 五十八個
(四) 五個	(五) 百五個	(六) 六十三個
(七) 百六十八個	(八) 百九十四口	(九) 廿一石
(十) 二百七十二個	(十一) 百〇七口	(十二) 六百六十六畝
(十三) 三十五口	(十四) 百〇七斤	(十五) 二百八十一日

減法第十教

- | | |
|-----------------|----------------|
| (一) 六百十八個 | (二) 九百五十一個 |
| (三) 百二十個 | (四) 六千九百四十九個 |
| (五) 六百六個 | (六) 九千〇〇九個 |
| (七) 四萬〇百八個 | (八) 一万五千九百九十五個 |
| (九) 千三百四十六個 | (十) 二万五千五百〇二個 |
| (十一) 千五百五十五個 | (十二) 三十七丈七厘 |
| (十三) 三十四四六十二丈八厘 | (十四) 四百四 |
| (十五) 二万四千九百七十六個 | |
- 減法應用問題
- | | | |
|----------|--------|----------|
| (一) 七十三四 | (二) 六丈 | (三) 四十七折 |
|----------|--------|----------|

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| (四) 四十七挺 | (五) 一斗七升 | (六) 六百九十九間 |
| (七) 三百十八人 | (八) 十五年 | (九) 二百九十二里 |
| (十) 五十一丈 | (十一) 七葉 | (十二) 三十七本 |
| (十三) 七十五人 | (十四) 廿四里 | (十五) 四十四口不足 |
| (十六) 二百八十四人 | (十七) 五十八鑼 | (十八) 六百九十四名 |
| (十九) 三百七十五人 | (二十) 九十七樽 | (廿一) 三百六十八石 |
| (廿) 一石五斗 | (廿二) 百八十四口 | (廿三) 八百七十三名 |
| (廿四) 千三百十四口 | (廿五) 百九十八口 | (廿六) 二百四枚 |
| (廿七) 廿二四五十丈 | (廿八) 十四口十九丈過 | (廿九) 七十六丈五厘 |
| (三十) 損二錢 | (卅一) 益五十七丈 | (卅二) 益七口 |
| (卅三) 益四丈一厘五毛 | (卅四) 四百四十口 | (卅五) 五口四十丈二厘 |

(世)十七石
(貫)一石一斗六升
(升)六十八丈五尺五寸
(平)七百廿六斤

15121.4

尋常 小 珠算教授書卷之三 終

明治十九年十月七日版權免許
同 年十二月廿日刻成

愛知縣士族

編輯人

鈴木知幾

愛知縣名古屋區正木早
二百八十九番邸 居住

同 縣平民

出版人

久永藤治郎

愛知縣額田郡岡村
八十五番邸 居住

同 縣平民

出版人

鈴木彌一

愛知縣南設樂郡新城村
五百六十八番邸 寄留



尋常
 小學
 算數
 教授書
 於本邦我國
 四

大日本教育會館
 第六室
 三
 一八號
 丁架
 四國
 六冊

圖書分類
 K110.44
 97
 4